

市民ネットワークわかば

まちづくり通信

〒264-0033 千葉市若葉区都賀の台 4-5-15

☎043-284-2339 fax: 043-284-2362

NO.77

ホームページアドレス <http://www.chibanet.jp/wakaba/>

山田京子の一般質問から

子宮頸がんワクチンを中止して!

7月9日、千葉市議会で子宮頸がんワクチンについて質問した。

近年、子宮頸がんにかかる若い女性が増えたとのことから、任意接種として、この4月からは定期接種となった子宮頸がんワクチン。正確にはヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチン (サーバリックス・ガーダシルの2種類) だが、各地で重篤な副反応が多発したため、この6月、厚生労働省からの勧告で積極的勧奨を行わないことになった。千葉市でも副反応と思われる重篤な症例が1例報告されている。

◆なぜ問題なのか

- ・副反応の発生率が高い (別表参照)
- ・強い痛み、しびれ、手足の運動麻痺等で学校に行けない例も多い
- ・症状が重いのに検査しても異常がみつかりにくく、治療法がない

◆ワクチンの限界

- ・このワクチンで前がん病変は予防できるが、**子宮頸がんそのものを予防する効果はまだ証明されていない**
- ・がんを起こす HPV の50~70%にしかワクチンの効果はない
- ・効果の持続期間は未定。今は9年ほどしか確認できていない

ワクチンの種類	副反応発生率	うち重篤件数
サーバリックス	245.1	114.3
ガーダシル	155.7	49.1
不活性化ポリオ	20.6	7.1
ヒブワクチン	59.2	23.5
インフルエンザ	6.4	2.2
日本脳炎	115.7	44.9
4種混合	11.6	6.9
小児用肺炎球菌ワクチン	82.9	30.4

◆定期的検診は必須

- ・定期的な検診・検査・治療で子宮頸がんはほぼ100%治癒できる
- ・受診率が低いことが問題。千葉市の20代は26.9%、一番多い40代で54.3%

◆性教育の重要性

- ・性交渉で感染するため、風疹等のように知らないうちにうつるものではない
- ・この病気の本質を本人が理解しなければ、検診の必要性を自覚できない

※発生率=100万接種あたりの発生数 (厚生労働省のHPより)

以上のことから千葉市に

- ・これ以上副反応で苦しむ人が出ないように、市民に対しリスクも含めた情報提供を急ぐこと
 - ・若い女性でも、忙しい人でも検診を受けやすい体制を作り、受診率を引き上げること
 - ・年齢に応じた性教育を行って性感染症の危険性を低くすること
 - ・副反応の被害が出た場合には、十分支援すること
- を求めた。検診で防げる病気なのに多額の税金を投じてこんな危険なワクチンを認可した国の審査に疑問を感じる。子どもの健康を願う親心を裏切ることがないように、国は HPV ワクチンの定期接種を中止すべきだ。

人生の終わり方を考える ～エンディングプラン～



学習会風景

市民ネットワークわかばでは、以前から墓地のありかたについて考えたり、市営霊園などの見学会を開催してきました。

7月16日にはセクトシティホール都賀にて、エンディングプランを考える学習会を開催しました。

自分が入院した時や介護が必要になった時どうしてほしいか、死亡した場合葬式はどうするか、誰に連絡してほしいかなどを、元気なうちに書き留めておくのが「エンディングノート」です。

自分がどのように最期を迎えたいか、希望を伝えることはもちろん大切ですが、残された家族たちが困らないようにするためにもとても必要なことだと感じました。

また、「法律で遺産の分配割合が決まっているから」という理由で遺言を書かない人が多いという話を聞きました。しかし実際は、遺言がないせいで本来争わなくてもいい人たちの間でいさかいが起こることもあるそうです。

いつ最期の時が来るかは誰にもわかりません。自分のためにも家族のためにも、元気なうちに少しずつ準備しておくことをおすすめします。(岩崎明子)



若葉のいずみ

～若葉区の活動団体紹介～

ワークホーム やまびこ

代表者：龍崎邦雄

〒264-0006 千葉市若葉区小倉台 6-1159-26
TEL & FAX 234-7540

ワークホームとは昭和61年にスタートした千葉市独自の事業で、心身に障がいを持つ方々が、地域で家庭的な雰囲気のもと作業活動、文化活動、レクリエーション活動を行っている場所

利用者の声

私は2010年6月から利用している視覚障害者です。やまびこでは先ず朝9時20分にミーティングをやり、ボランティアの人も含めて楽しく作業をしています。また、掃除などはそれぞれ分担当を決め、私は台所を受け持ち、お昼のお茶などをいれたり、春に菜花のおひたし、竹の子ご飯などを作ります。みんな喜んでくださいます。アットホームなやまびこが大好きです。

ワークホーム「やまびこ」は、平成9年の開所以来、保護者・地域の皆様、そしてたくさんさんのボランティアの方々を支えられ、明るく和やかな活動を続けてきました。現在女性指導員3名と在籍の利用者7名でみんな楽しく参加しています。主な作業は、電気部品の組み立てですが、時に手工芸品を作ったり、調理実習をしたりします。また、春のフェスティバルや遠足などの行事、クリスマス会や誕生会などの楽しみもあります。

11月末の土曜日に開催予定のフェスティバルにおいて下さい。私たちの陶芸作品も販売します。

予告 お墓とお葬式の話

～人生の締めくくりを考える～

日時：10月18日(金) 10時～12時

場所：都賀コミュニティセンター

講師：千葉市生活衛生課職員

ファイナンシャルプランナー 藤井智子さん



問合せ先 市民ネットワークわかば 043-284-2339

募集 1団体上限50万円の市民活動・市民事業部門 締切 9月30日必着

* 東日本大震災市民活動支援 締切 10月31日必着

市民ネットワークの1つ(議員報酬は市民活動の資金)に基づき、市民ネットワーク千葉県は、社会を豊かにしようと地域で活動している市民団体・市民事業を支援しています。これまで総額2564万1170円を助成しました。

【問合せ先】市民ネットワーク千葉県 043-201-1051

ちば元気ファンド 検索